

3事業統合後の新組織運営の 課題と活性化のための方策

千葉産業保健総合支援センター

能川浩二

研究代表者

千葉産業保健総合支援センター 所長 能川 浩二

研究分担者

千葉産業保健総合支援センター 産業保健相談員 諏訪園 靖

共同研究者

| | | |
|----------------|-------------|---------|
| 公益社団法人千葉県医師会 | 理事(産業保健担当) | 深 沢 規 夫 |
| 公益社団法人千葉県医師会 | 理事(産業保健副担当) | 松 岡 かおり |
| 千葉大学大学院環境労働衛生学 | 助 教 | 能 川 和 浩 |

目的、対象及び方法

目的

事業統合後の新組織の活動活性化の方策を明らかにする

対象

千葉県下9地域産業保健センター(地域窓口)で登録されている全ての医師を対象とした。これらの医師には機構からの辞令が交付されている。

調査内容

質問紙による調査を実施した。調査内容は登録産業医の産業医としての活動状況、従来の地域産業保健センターへの関わり、新しい事業に対する知識・参加の意志、今後の活動意欲を高めるために求める事などである。

調査方法

対象者に対して、郵送で質問紙を送付し、約1ヶ月を期限に回収をした。調査実施期間は27年1月である。

結 果

調査対象者

8地域産業保健センターの登録医

186人

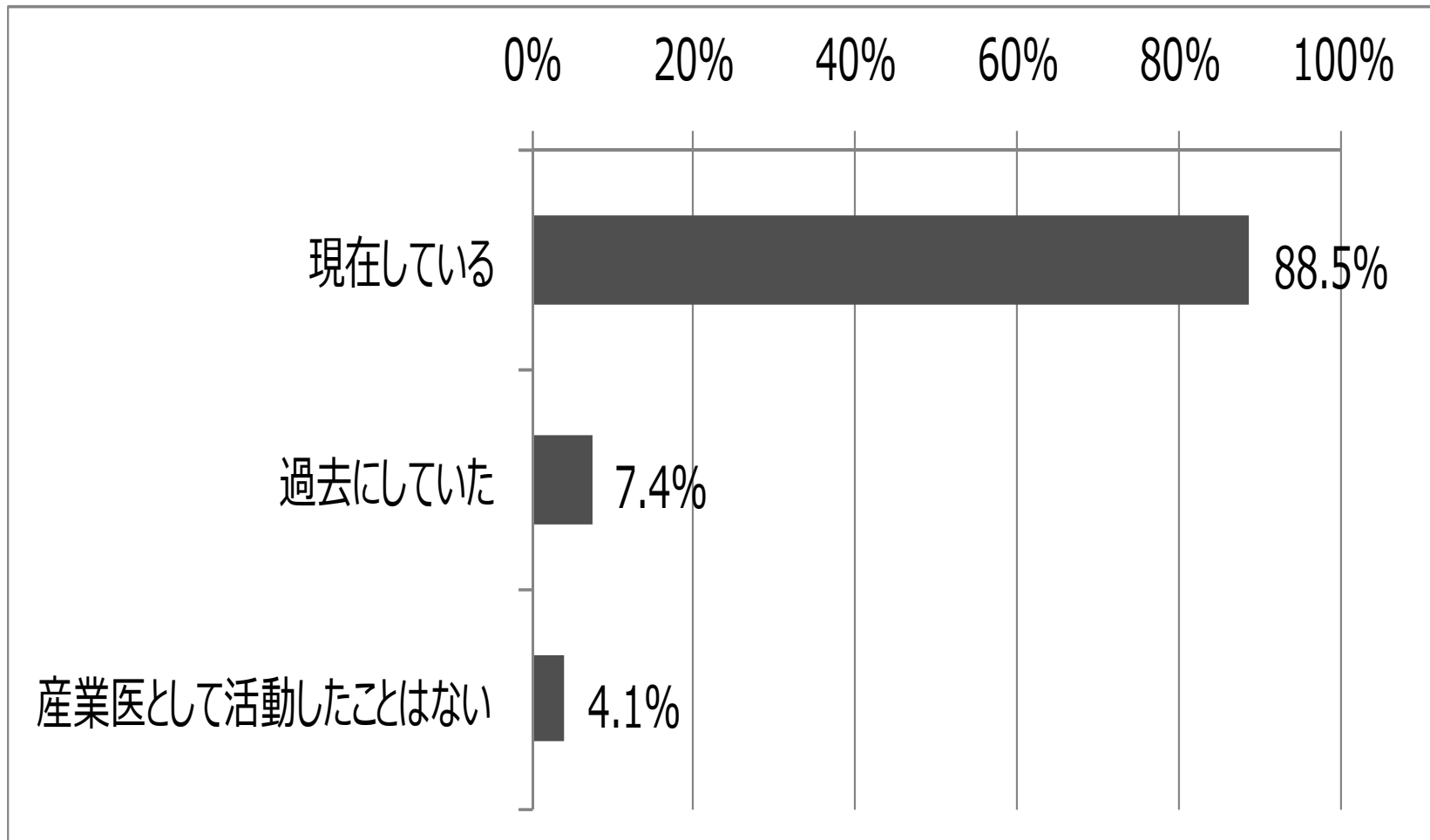
アンケート回答者

122人

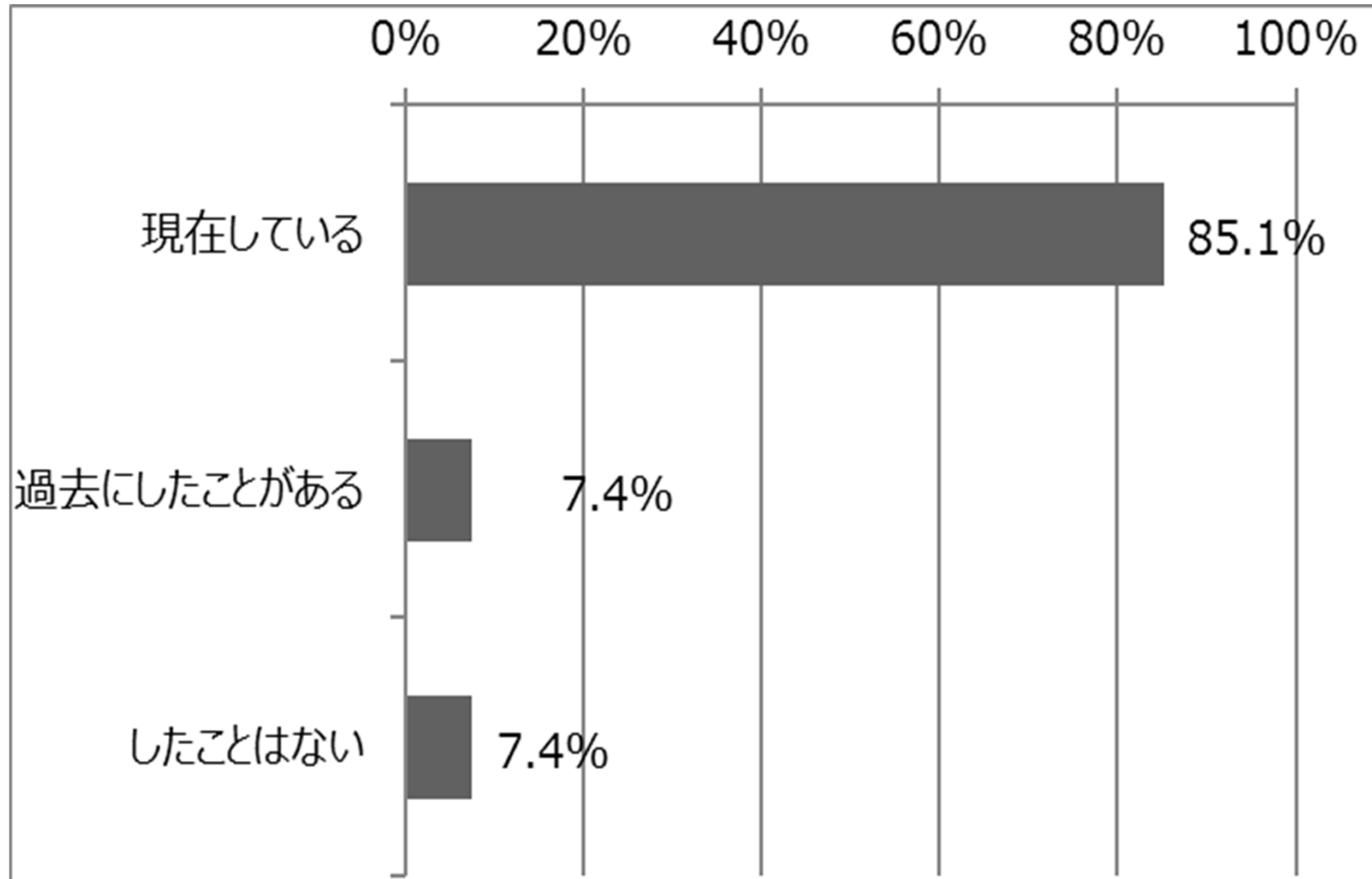
回収率

65. 6%

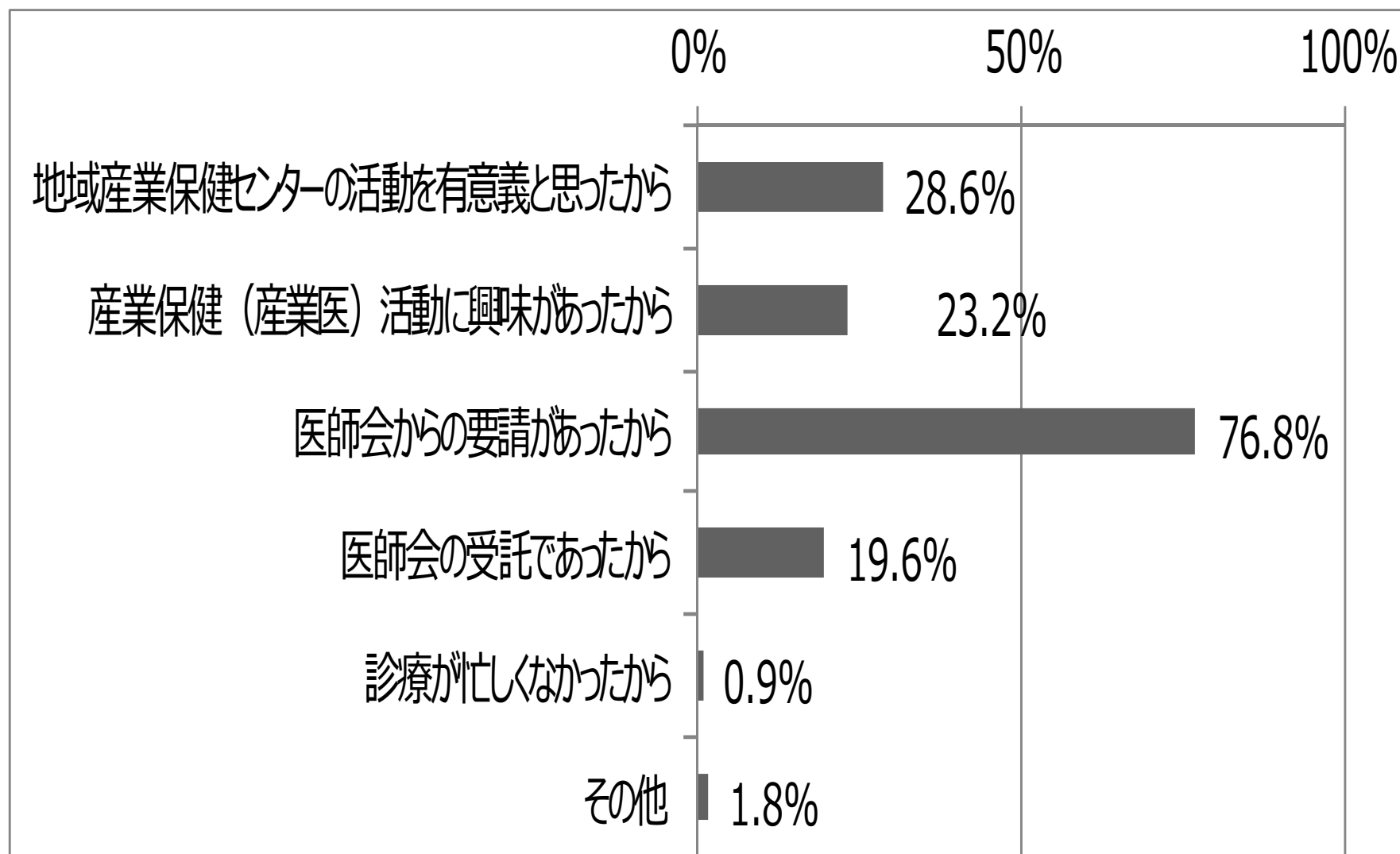
産業医としての活動状況



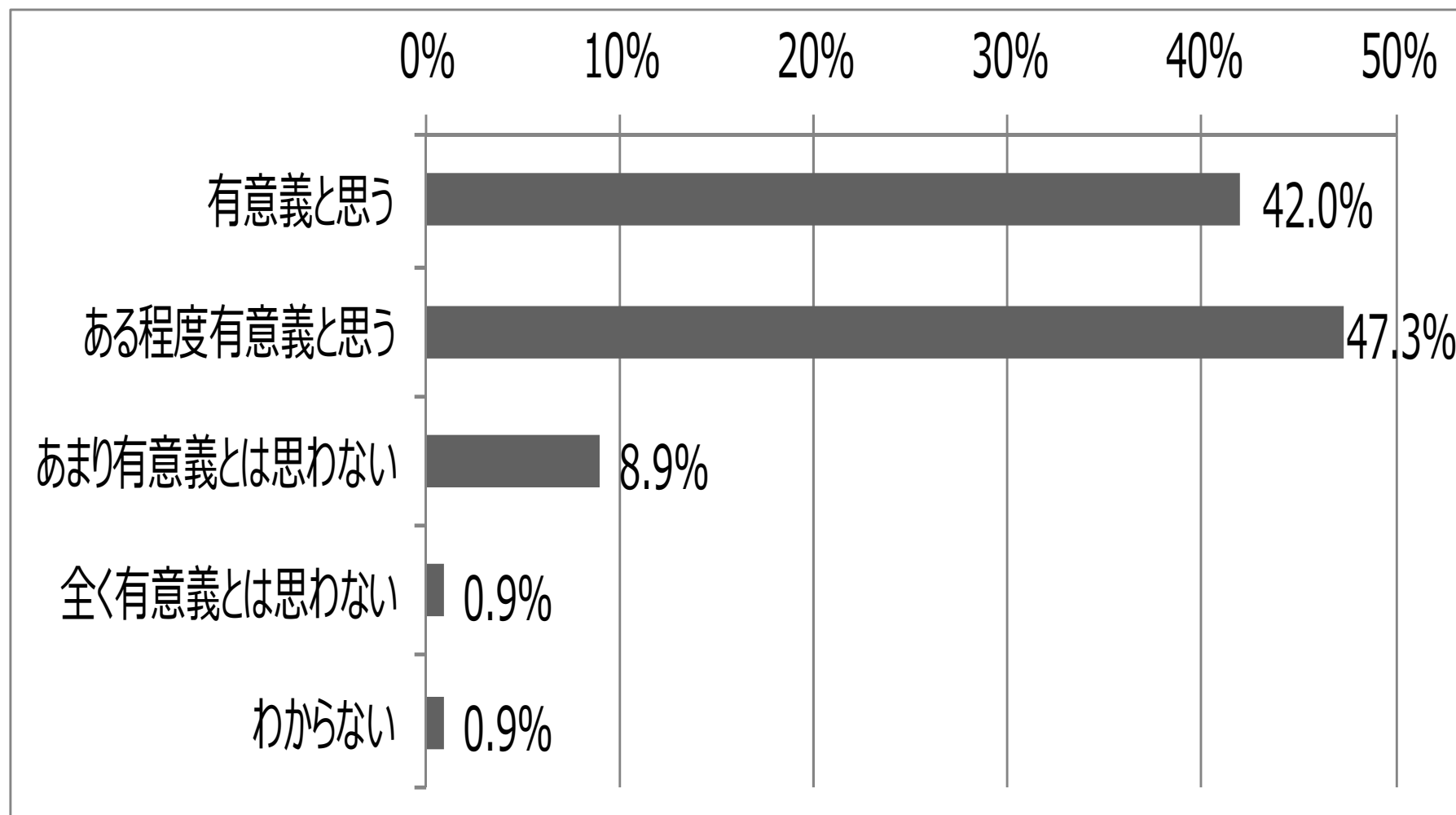
地域産業保健センターでの健診結果の説明等の業務の経験について



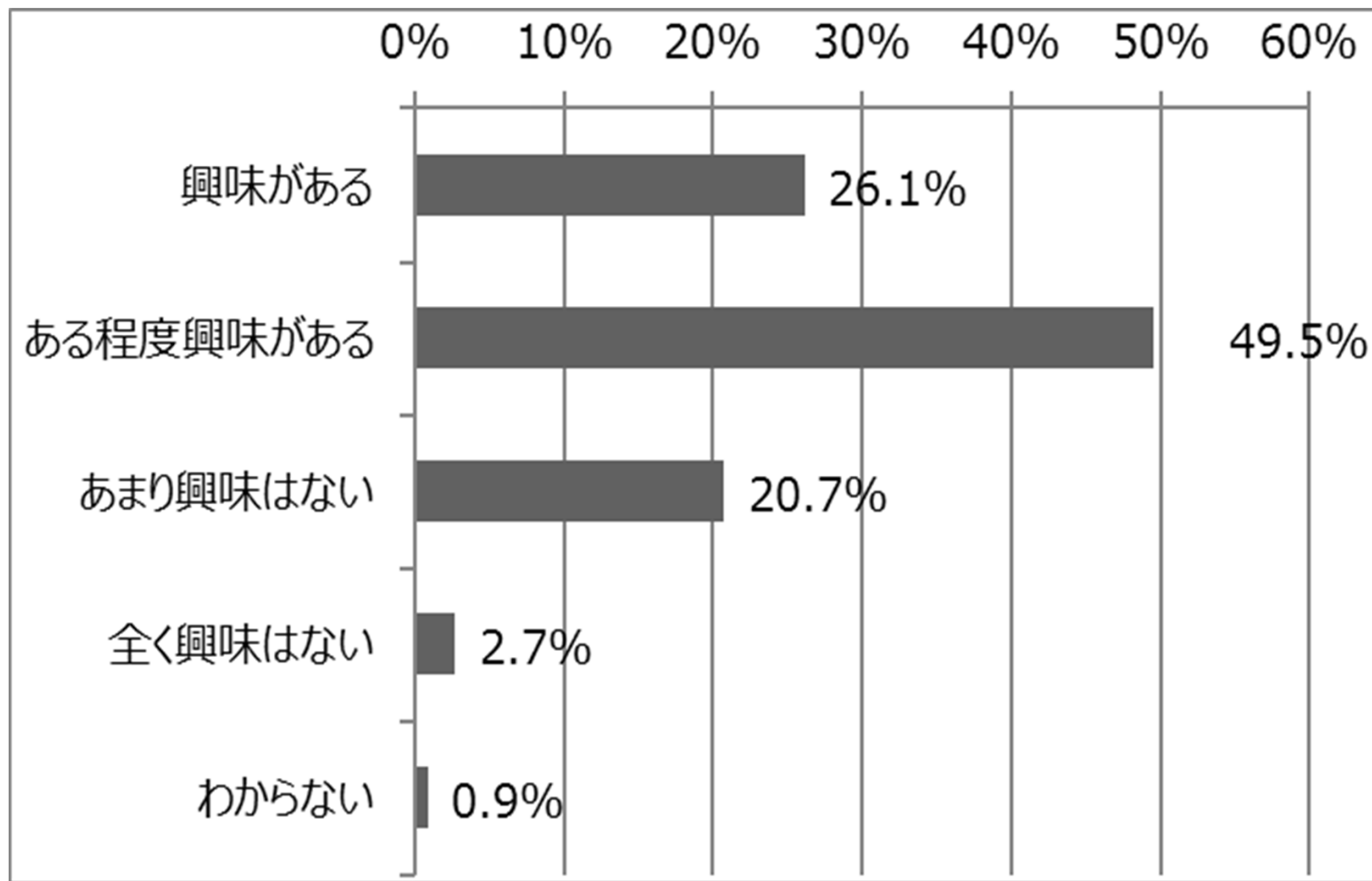
地域産業保健センターの業務に参加した理由 (複数回答可)



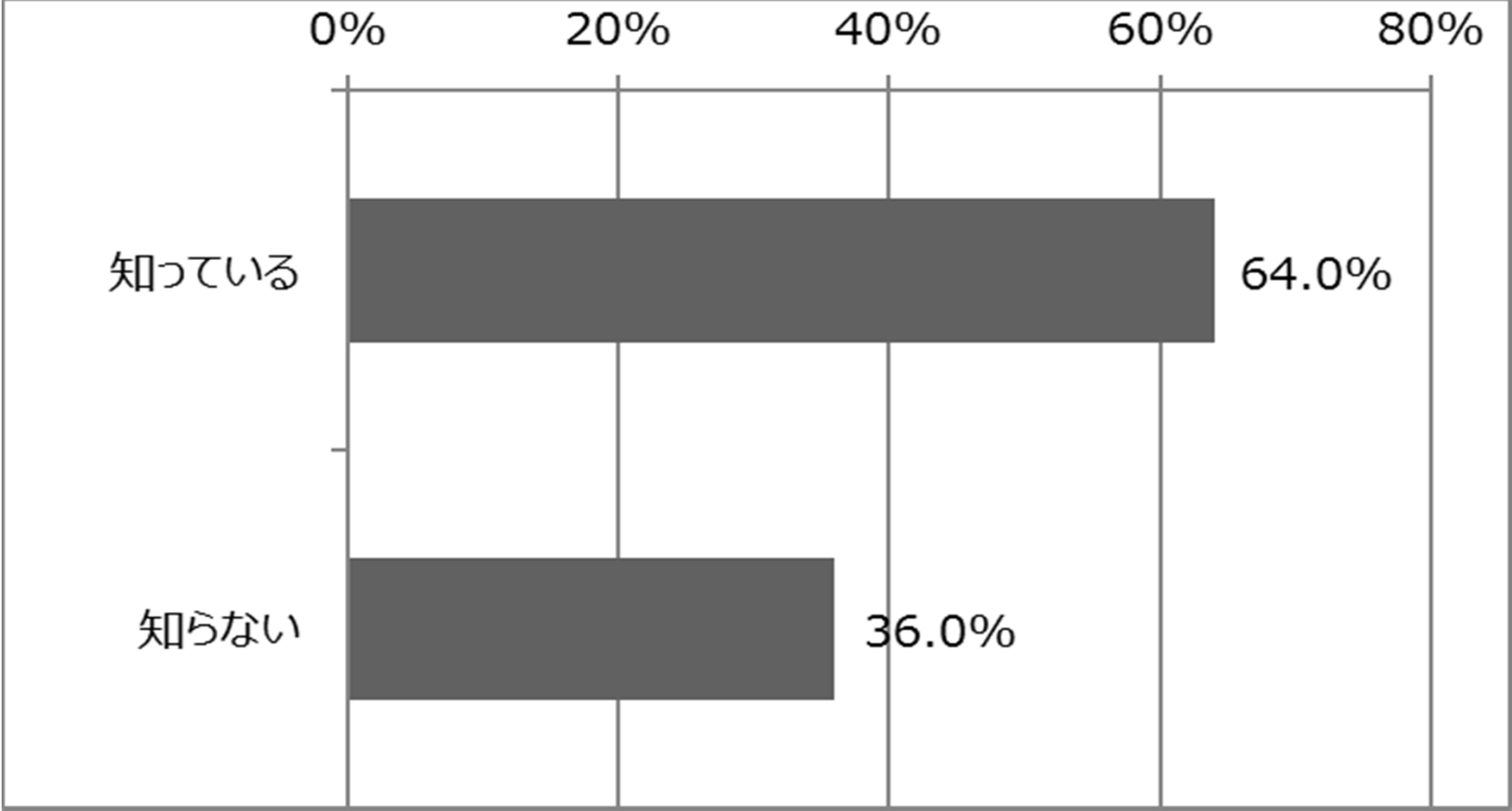
地域産業保健センターの産業医業務の意義



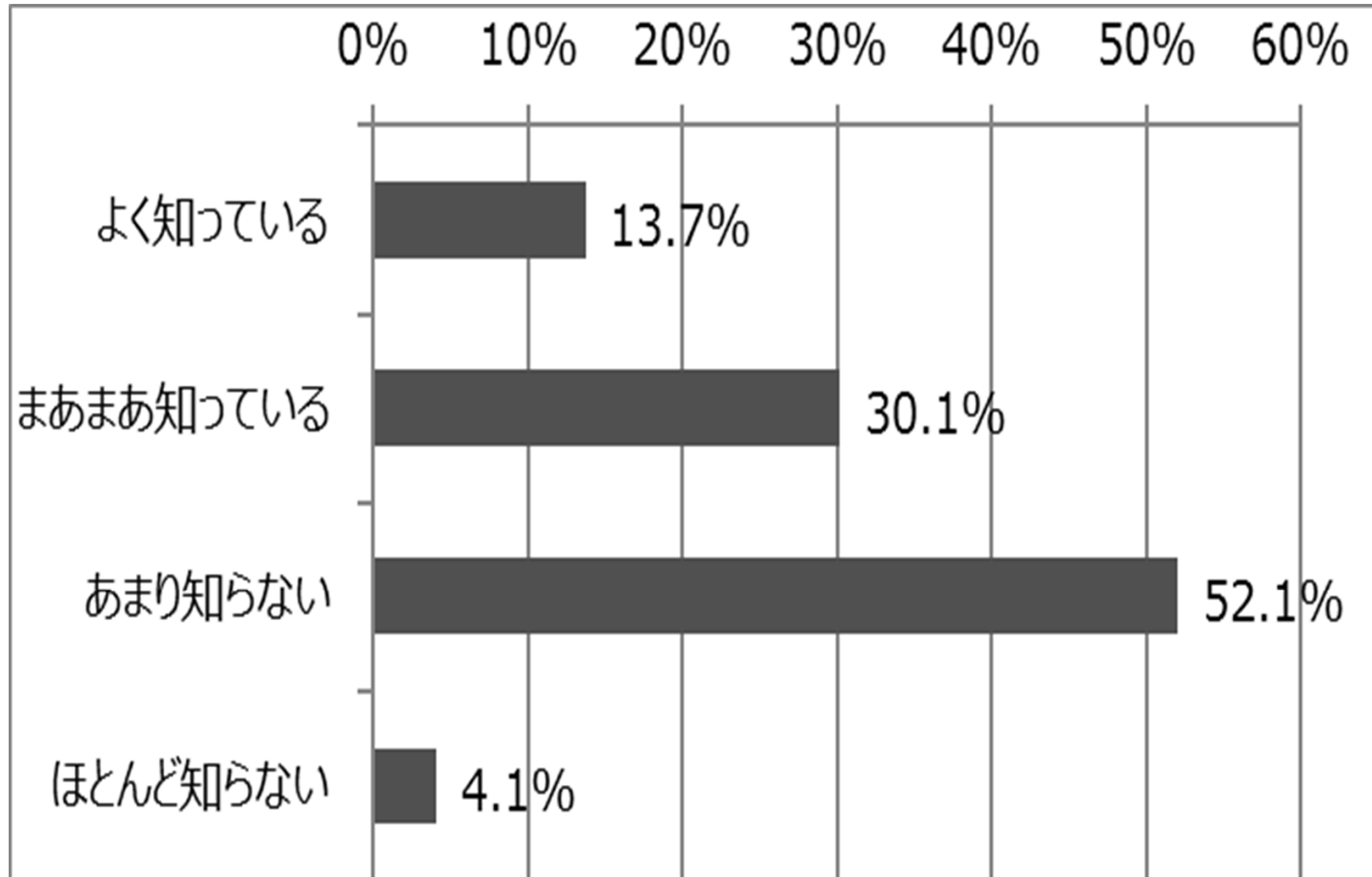
地域産業保健センターの産業医業務への興味



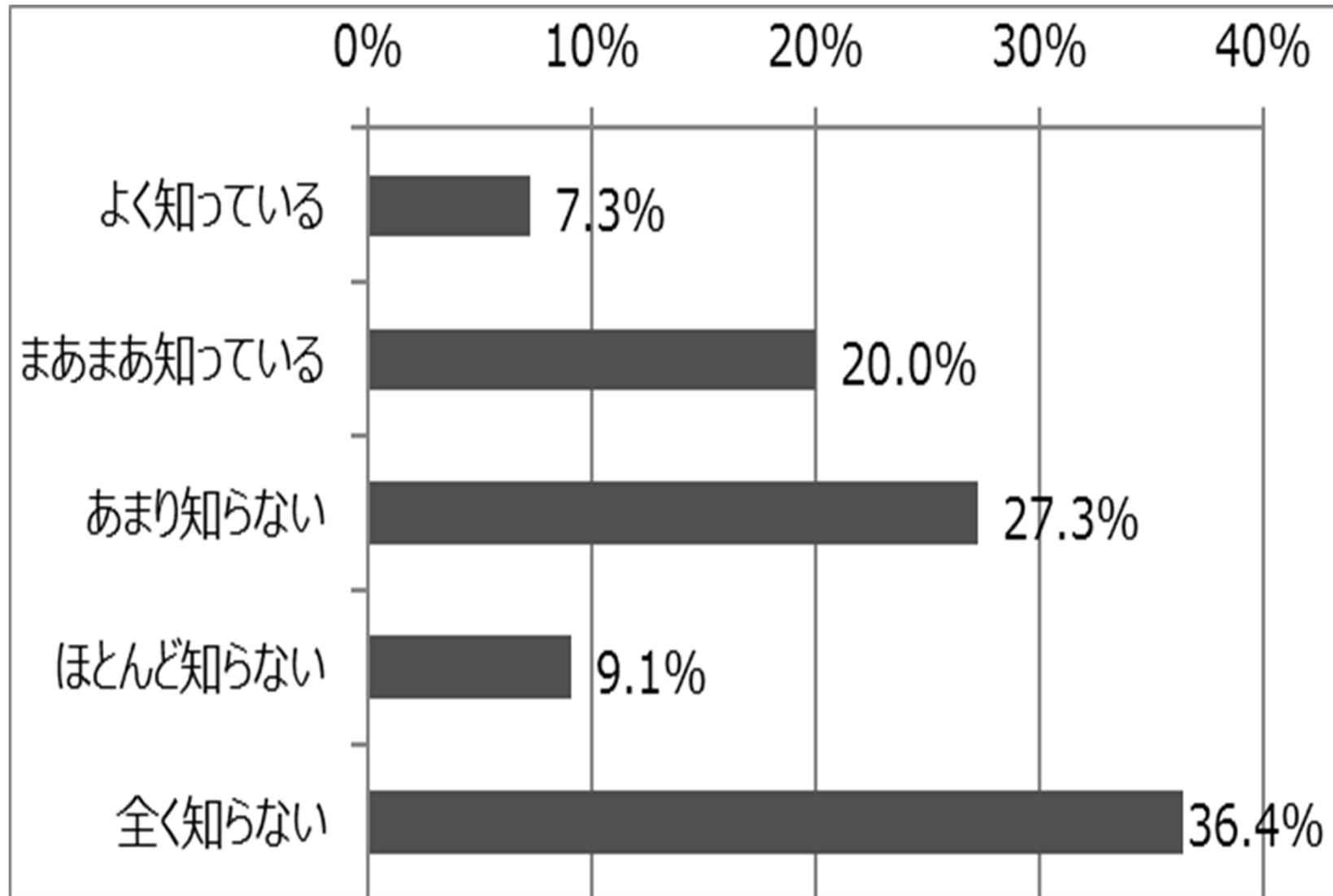
平成26年4月1日より従来の地域産業保健センターは千葉県医師会への委託事業から労働者健康福祉機構に統合(事業一元化)された点について



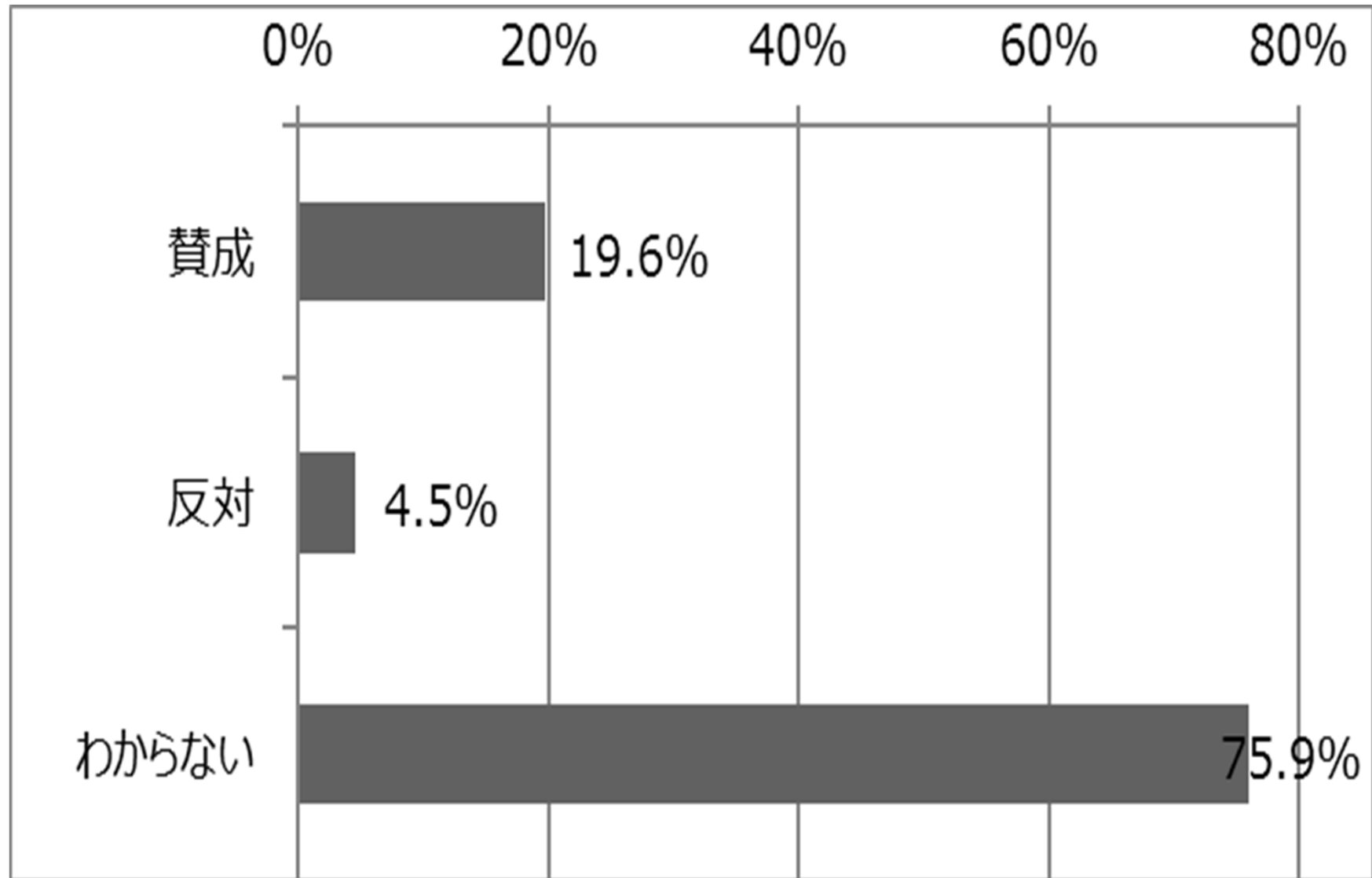
統合された新組織についての知識



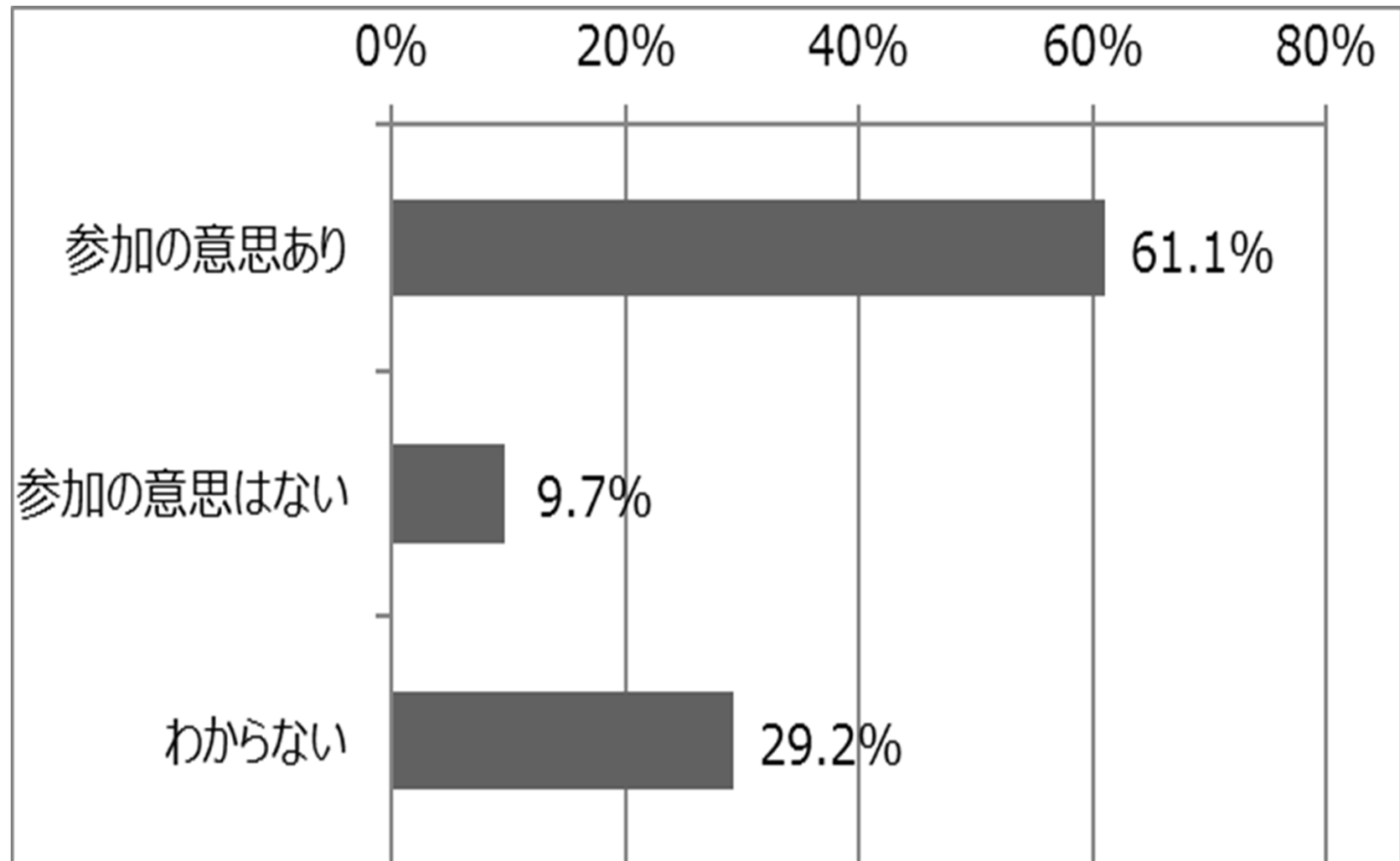
地域産業保健センターが統合された理由について



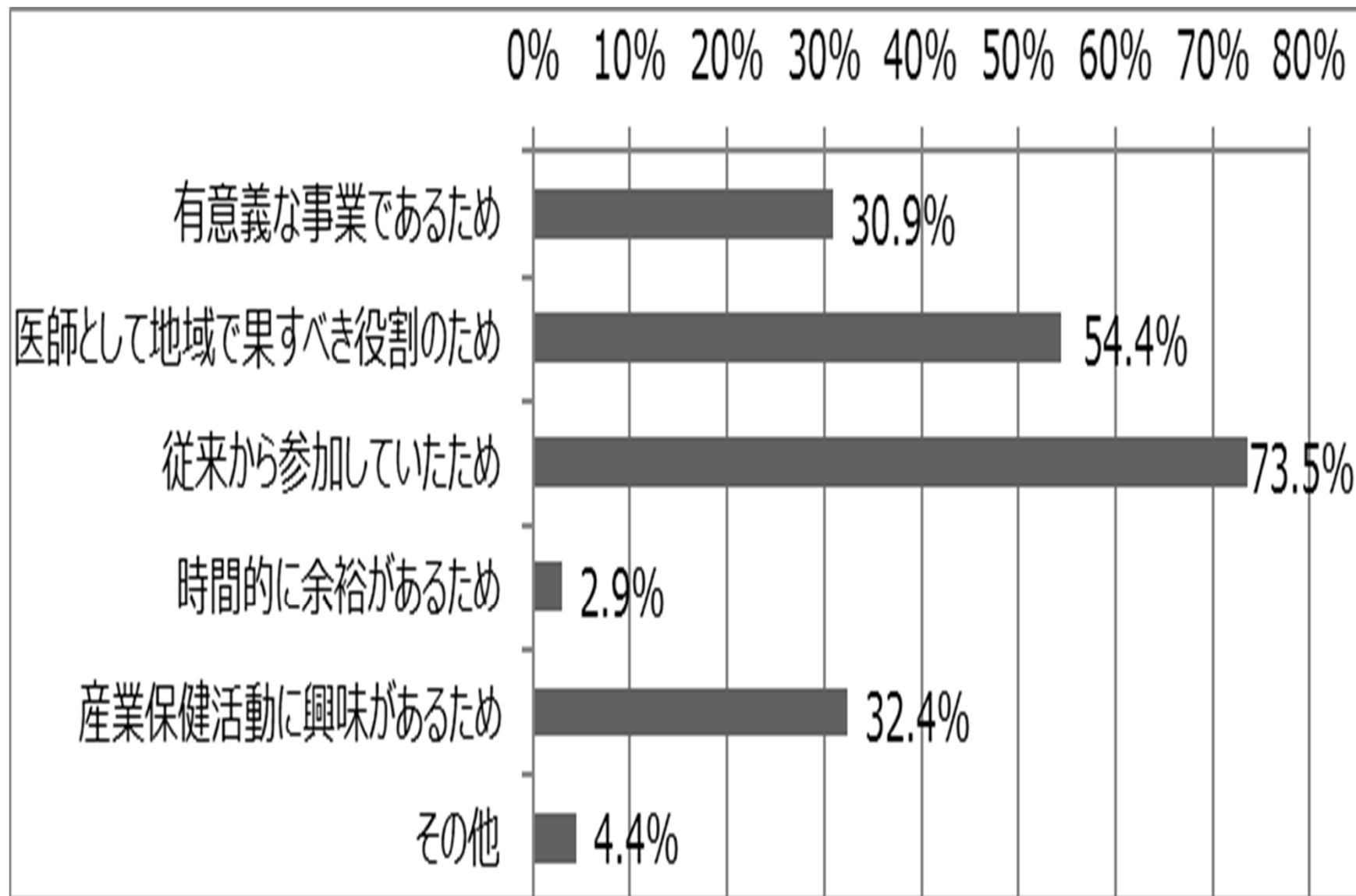
地域産業保健センターの統合について



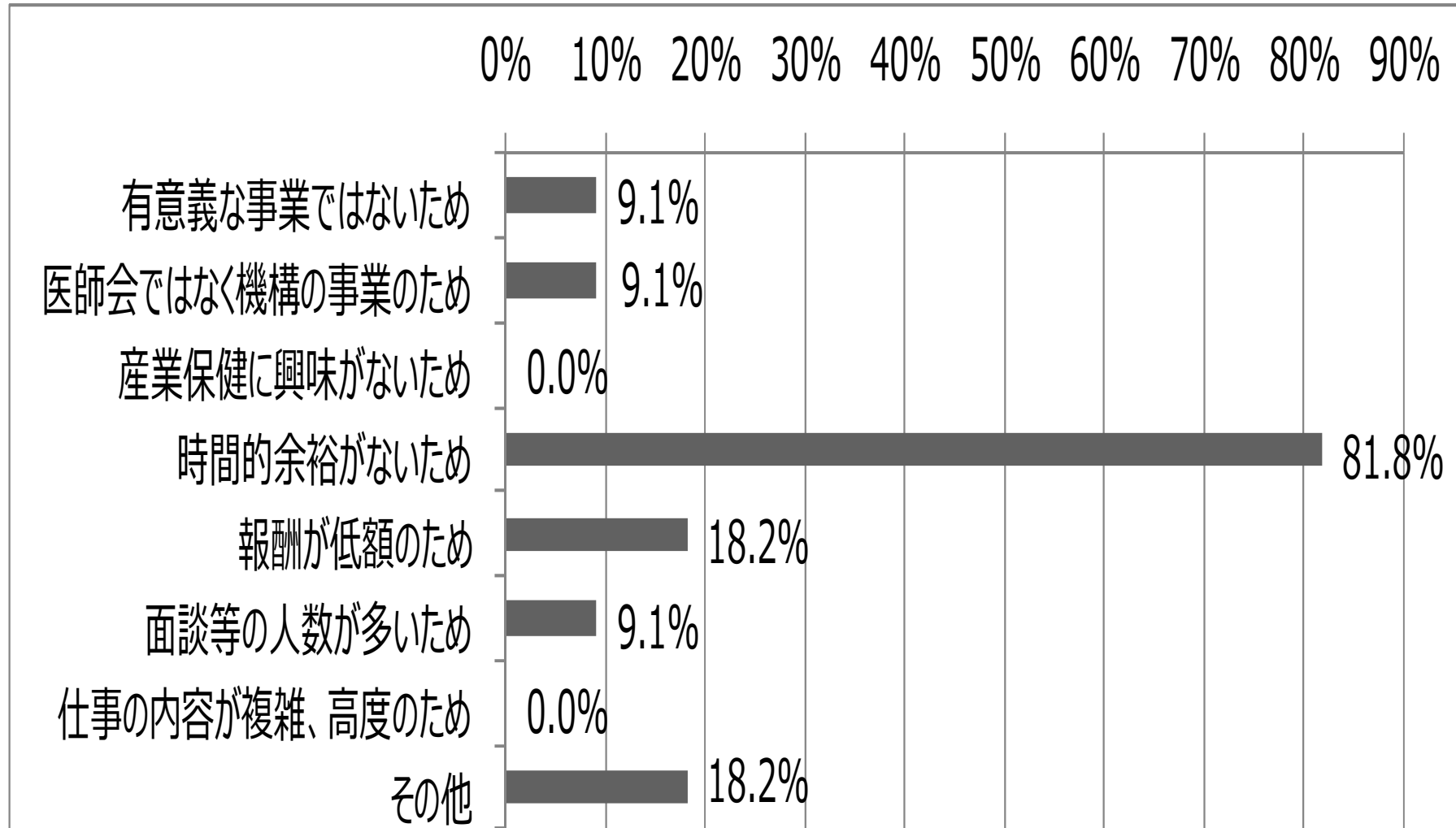
地域産業保健センターの事業に産業医として参加する意思



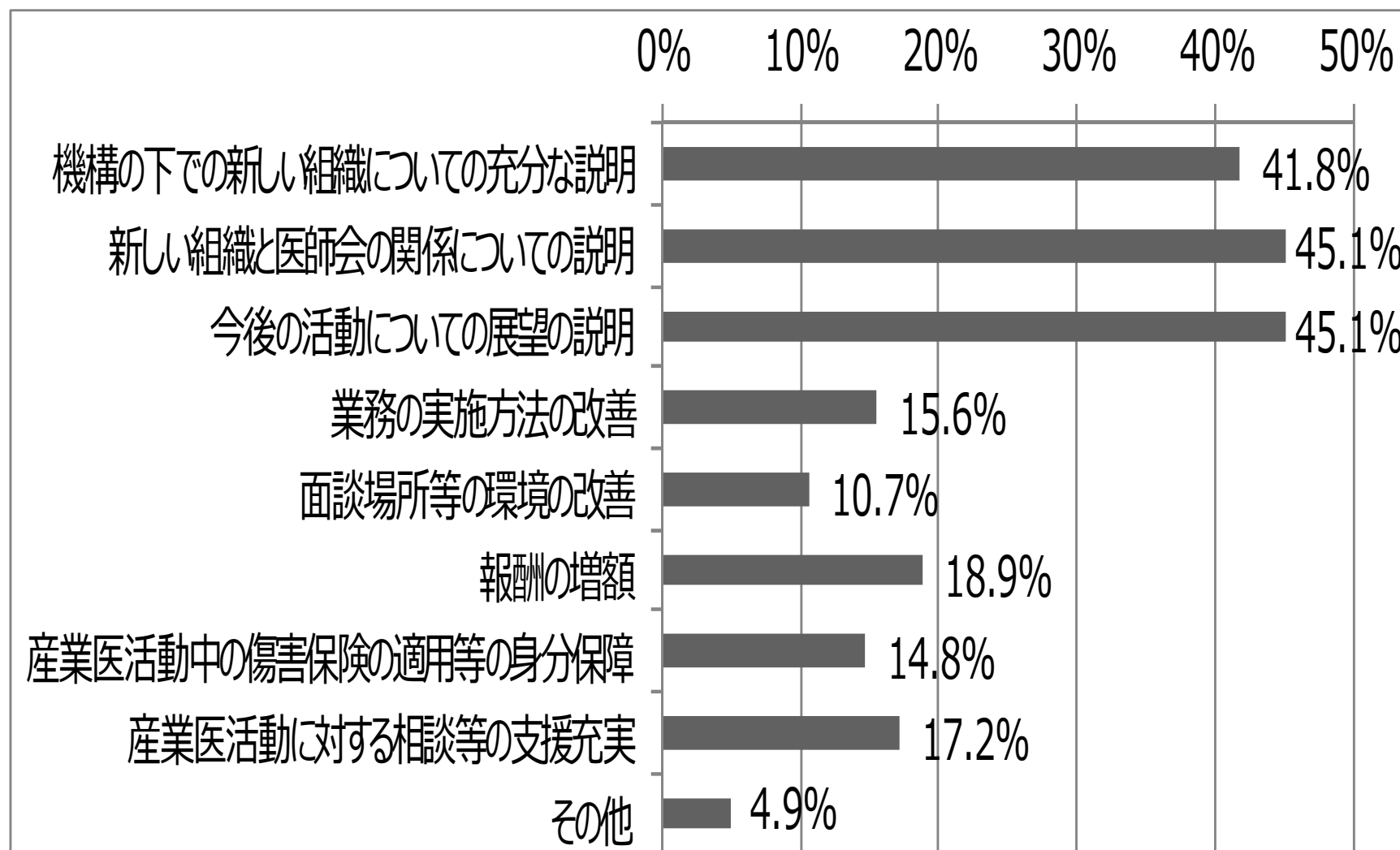
参加の意思が有りの理由（複数回答可）



参加の意思がない理由について(複数回答可)



地域産業保健センターの事業に産業医として参加し活動する意思を高めるために改善を望む事項について(複数回答可)



意見

変にノルマなどを与えず、地域に根ざし、地域に産業保健活動を広げる最前線基地として活用していくべきである。機構になるとノルマノルマとうるさい。

働く人達を守る有意義な仕事と考え活動しています。地産保を利用する人が多くなるよう、制度のPRもお願いします。

まだまだ小さな事業場に対する宣伝が足りないと思います。もっと利用して頂けるように努力すべきです。

事業主や、従業員による相談件数を増やす方法を充実させてほしい。

コーディネーターがもっと活動できる様に、人、予算をつけていただければと思います。

考察と結論

1. 登録した医師は産業医として活発に活動している
2. 地域産業保健事業の意義を認め、新組織への参加意思を持っているが、新組織に関する知識は不十分である
3. 新組織の十分な説明、医師会と新組織の関係への十分な説明、今後の展望についての説明が、強い要望事項である

新組織の活動の活性化策

登録産業医への新組織に関する十分な説明など、継続した地域産業保健活動に関する説明

利用する企業、社員の増加策の強化

医師が働きやすい環境の整備（保険制度など）

本部組織の医師会への積極的は働きかけ